

第8期 東久留米市地域産業推進協議会
第6回会議録

- 1 日 時 令和6年8月19日（月）午後6時00分～午後7時05分
2 会 場 東久留米市役所 6階 602会議室
3 出席者等（敬称略・五十音順）

赤星 良平	荒 昌史	石川 善則	伊藤 成美	榎本 義樹	陰山 ひとみ
齋藤 真理	塩野 麻里	篠宮 昭浩	土田 健太郎	野崎 林太郎	

欠席：多功 敬

4 議 事

1 開 会

2 挨 拶

3 報 告

4 議 事

（1）各事業部会の今後の取り組みについて（報告・質疑）

- ①イベント推進事業部会
- ②情報発信推進事業部会
- ③新産業創出推進事業部会

（2）その他

5 連絡事項

- （1）委員からの連絡
- （2）事務局からの連絡

6 次回協議会開催日

7 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただいまより、第6回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。初めに配付資料の確認をさせていただきます。

(配付資料の確認)

2 挨拶

【会長】

・今回は、令和6年度の2回目の本会となる。各事業部会の報告をもとに、活発の議論をお願いしたい。

3 報 告

■ 商工会

・特になし

■ JA

・特になし。

■ JC

・特になし

■事務局

・8月1日からシェアサイクル実証実験が始まった。市内14か所にシェアサイクルポートが設置された。

4 議 事

(1) 各事業部会の今後の取り組みについて（報告・質疑）

①イベント推進事業部会

■ 概 要

- ・民間事業者が主体となってナイトマルシェを実施できる仕組みについて検討した。具体的なイメージとしては、①民間事業者から組織される実行委員会が実施主体となってナイトマルシェの出店者を募り、開催の申請を市に行い、②市が道路使用許可や道路占用許可の申請を行い、③ナイトマルシェが終了したら、実行委員会が市に事業報告を行う形である。このイメージを踏まえた上で、申請書類や市の審査基準等を今後検討していく。
- ・ナイトマルシェのロゴマークの選定要項を作成し、現在デザインを何名かに依頼している。ロゴマークの選定について、次回のイベント推進事業部会で行ってよいか今回

の会議で了承を得たい。

- ・ナイトマルシェ Vol.3 については10月11日に開催予定である。場所や開催時間については前回開催時と同じだが、出店店舗は4店舗程度とする予定である。
- ・今回のナイトマルシェの開催目的としては、将来的に民間事業者に委託することを踏まえて、民間事業者が運営することを想定して実施し、手続きや流れ、課題等を確認し整理することである。
- ・運営部分について、今までは地産協を総動員して行っていたが、今回はイベント推進事業部会を中心に行う。また、ナイトマルシェの目標である「市民も出店者も「共に楽しむ賑わい」」を実現するため、ポスターやチラシは作成せず、SNSでの周知のみ行う予定である。

■ 補 足

なし

■ 質問及び回答

【委員】

ロゴマークについては何名程度依頼しているか。

【委員】

5人ほどお声がけした。

【委員】

ナイトマルシェを民間委託するにあたり、現行の実施内容は維持して実施主体のみ委託する想定か。それとも、ナイトマルシェの名義やロゴのみ貸して、実施内容については実施主体が自由に決め、その内容を市が審査する形を想定しているか。

【委員】

ナイトマルシェの名義やロゴについては、現行の実施内容が維持される場合のみ使用可能とすることを考えている。

【委員】

SNSでの周知ははしチョコ上で行うという認識でよいか。

【委員】

はしチョコを考えているが、大々的に行う必要はない。他のイベントと同様の規模で構わない。

【委員】

情報発信のスケジュールやどのような情報発信を行うかについては、イベント推進事業部会から提案いただくことはできるか。

【委員】

決まり次第連絡する。具体的な文章などはお任せしたい。

【委員】

発信前に、イベント推進事業部会で文章などチェックいただけるとありがたい。

【委員】

前回のナイトマルシェから開催規模が変わったことに対してSNSで意見が出た場合、どのように対応するか。

【委員】

イベント推進事業部会で対応する。

【委員】

ナイトマルシェの1回目開催時に、意見への返信が遅くなったことに対し苦情があったため、前回開催時では何か起こった際の返答文をあらかじめ作成していた。

【委員】

今回は事業者が運営することを想定して行うため、意見はイベント推進事業部会に流すようにしてほしい。

【事務局】

今回のナイトマルシェについては、実態としては地産協が主催となるが、事業者が運営することを想定して行う。そのため、地産協全員で行うのではないため、運営面に関してはイベント推進事業部会にお任せしてほしい。

【委員】

店舗数を減らせば、人が混雑しなくなり地産協の人員を減らせるというイメージであるか。

【事務局】

今までのナイトマルシェでは、出店者はお店で物を売っただけで完結していたが、民間委託後はSNSの発信や当日の運営についても出店者に行ってもらう想定である。店舗が少なくなったから地産協の人員を減らせるというわけではなく、店舗側からも運営等を負担してもらうことで、地産協なく運営できる事業にしていきたい。

【委員】

出店する店はいつわかるか。

【委員】

早めに言えるようにはしたい。

【委員】

ナイトマルシェを委託するに当たり、事業者への負担感が課題となるため地産協が間に入ることにについては大いに意味があると思う。公共空間の利活用について、市にお金が入るスキームが作れるといいと思っている。近年はその事例も増えているため研究していきたい。

クオリティが高く、安定的ににぎわいを創出でき、市側に負担なく行えるモデルは場所貸しだと思うが、スキームを構築する負担やそもそもマーケットがあるかは課題であ

る。今回のナイトマルシェは4店舗での開催だが、4店舗でどれだけ集客できたかのデータについては今後に役立つと思う。

【委員】

市にお金が入ってもよいか。

【事務局】

お金に関しては二つ考えがある。一つは公共空間を利活用することでお金が回る仕組みを作れば、直接市にお金が入らなくてもよいという考えである。もう一つは市が主催しなければ道路使用料を徴収できるので、そこから市にお金を入れるという考えである。

【委員】

市が出店料などの徴収を行うことは、地産協のような中間的な組織を作れば可能かと思うが、税務処理等は誰が担当するかという課題はある。

【委員】

ロゴマークの制定についてイベント推進事業部会で行う旨、事務局から先ほど提案があったが、特に異論はないか。

(異論なし)

異論がないため、イベント推進事業部会でロゴマークの選定を行う。

②情報発信推進事業部会

■ 概 要

- ・「るるめちゃんやってみたシリーズ」として、①キュウリを育てて市長へ渡す一連の動画、②ルービックキューブをしている動画、③じゃんけんをしている動画を撮影した。動画の撮影については部会終了後の時間を活用した。
- ・キュウリの苗を育てる動画を始め、直近の投稿のリーチ数が伸びている。
- ・るるめちゃんのハプニング動画のリーチ数が伸びた理由を分析した結果、「ゆるキャラ」のハッシュタグを使用するとフォロワー外からのリーチ数が伸びることがわかったため、るるめちゃんの動画に積極的に使うこととした。また、「くるくる案内所」のハッシュタグを使用すると、内容がくるくる案内所に転載されるため、こちらのタグも継続して使用する。
- ・ナイトマルシェが10月開催となったため、るるめちゃんのデザインマンホールの撮影に関しては12月撮影に変更となった。
- ・るるめちゃんの着ぐるみを外部貸し出しする際、事前の広報宣材や、るるめちゃんが活動しているところを撮影した写真や映像の提供を依頼し、はしチョコに掲載する。
- ・市ホームページにおけるるるめちゃん紹介ページについて、イベントの出張情報やはしチョコへリンクするなど、変更を予定している。

■ 補 足

なし

■ 質問及び回答

なし

③新産業創出推進事業部会

■ 概 要

- ・創業支援イベント実施に向けて、具体的な内容決めや関係する団体の調整を行った。日程については12月1日、場所は自由学園しのめ茶寮を予定している。参加費は有料として、金額は検討中である。
- ・今回のイベントについては、「都市と自然」といった東久留米の魅力や地域資源を活かせる事業を創業できるイベントをテーマに設定し、参加者に東久留米で創業したいと思わせたい。また、起業することだけでなく起業後にもフォーカスした「持続可能な」事業を創業できるイベントとしていきたい。
- ・イベント名はまだ決まっていないが、「サステナビリティ」という言葉を使っていきたい旨部会内で話し合った。
- ・イベント後に懇親会を開くことで、参加者と講師でコミュニケーションが取れる場を開く予定である。
- ・イベントの周知の手段としては、①東京創業ステーションTAMAホームページ、②講師SNS、③商工会等の関係各所へのポスター掲示、④中小企業基盤整備機構（経済産業省所管独立行政法人）LINEアカウント「起業ライダーマモル」で配信、⑤市ホームページ、⑥はしチョコで発信を検討している。キービジュアルについてはホームページ用とSNS用で用意し、9月末ごろ完成を予定しているため、10月以降から情報発信を行う予定である。

■ 補 足

【委員】

去年度から検討していた創業支援イベントが実現できた。もちろん1回目のイベントで東久留米から創業者が出るかはわからないが、今回のイベントに関係する方々とコラボレーションを作れたことが重要である。また、東久留米市が創業支援に力を入れていることが関係する方々や参加者に伝わることも期待できる。

【委員】

現在、イベントの内容やテーマを詰めているところだが、東久留米を知ってもらうことや創業のきっかけになるイベントにできればよいと思う。

【委員】

今年度は創業支援イベントを行う形となったが、次年度についても様々なことを行い、最終的に移住定住につなげることができればと思う。

■ 質問及び回答

【委員】

SNSでの発信について、連続した投稿を行うと効果的である。講師から情報をもらい、開催情報以外にも連続して情報発信できるとよいと思う。

【事務局】

他の事例を見ると、講師紹介等で連続した投稿を行っているため、講師と相談する。

【委員】

連続した投稿をすとなると、ナイトマルシェ終了直後から始めることになる。SNSの発信は市ホームページの発信と合わせる方がよいか。

【事務局】

周知の開始時期は市報以外合わせられるので、最も効果的なタイミングで周知できるよう調整したい。

(2) その他

なし

5 連絡事項

(1) 委員からの連絡

【委員】

今週末に滝山・前沢みんなの夏まつりが行われるため、ぜひ参加してほしい。

【委員】

本日から30日までクルネでくるくるチャンネルのPRイベントを行っているので、ぜひ参加してほしい。

(2) 事務局からの連絡

■ 連絡事項

【市民部長】

お忙しい中活発な議論をしていただき大変感謝している。東久留米独自の地域資源はそれほど多くないため、そのような状況で東久留米を盛り上げていくには地域に携わる方々の熱意が必要であると感じる。市民の方々に組織されている地産協で活発な議論が行われることは非常にありがたいことであるので、今後とも引き続きご協力の程お願いしたい。

6 次回協議会開催日

【事務局】

後日日程調整を行う。

7 閉 会

【事務局】

これにて第6回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。